

4. 交通サービスの変化の分析例

(1) 新規航空会社の参入に伴う航空運賃の低下

スカイマークエアラインズの東京 - 福岡路線参入(平成10年)

羽田空港の発着枠の拡大(平成9年)

のぞみ「500系」導入(平成9年)

< 福岡 - 首都圏 >



のぞみ「500系」

平成 9年 のぞみ「500系」導入によるスピードアップ
平成10年 スカイマークエアラインズ東京 - 福岡路線参入に伴う航空運賃の低下



平成9年ののぞみ「500系」導入によるスピードアップおよび平成10年新規航空会社参入に伴う航空運賃の低下等により、鉄道の流動量はほぼ一定のまま新たな航空需要が生じ、全体として流動量が増加しています。

図 福岡県と首都圏間の代表交通機関別幹線旅客流動量(各年、秋期1日(平日))

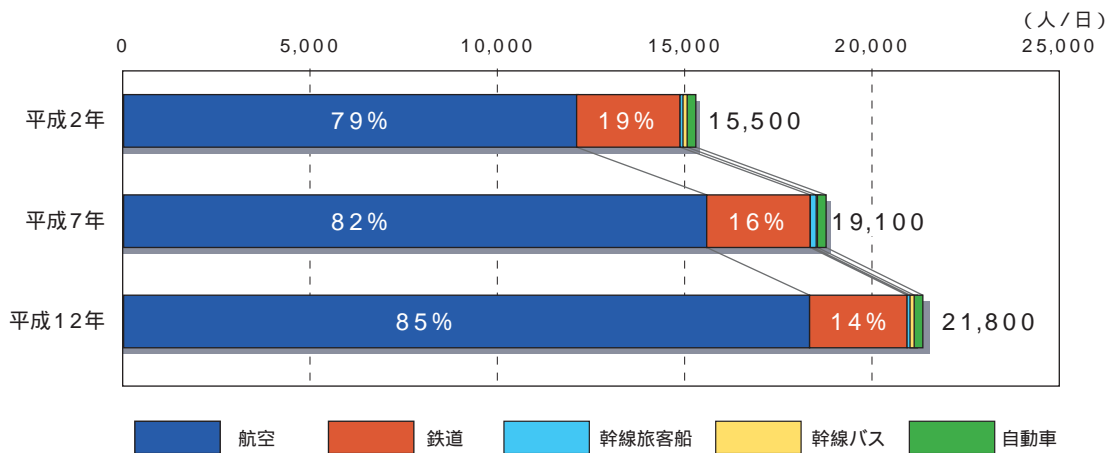


表 羽田 - 福岡路線の便数及び正規片道運賃の変化

【羽田 - 福岡】

年度	便数	運賃
平成2年	24便/日	¥25,350
平成7年	27便/日	¥25,350
平成12年	41便/日	¥31,000(通常) ¥33,000(多客期) ¥18,000(SKY)

注) 運賃は正規片道運賃

注) 便数は、往復で1便とし、隔日便、季節便、臨時便を除く



スカイマークエアラインズ

(2) 空港アクセス鉄道の整備

宮崎空港のアクセス鉄道乗り入れ(平成8年)

平成8年にアクセス鉄道が乗り入れた宮崎空港へのアクセス交通機関分担率の変化をみると、空港へ定時性の高い鉄道が乗り入れたことにより、平成7年から平成12年にかけて鉄道の分担率が上昇していることがわかります。

また、分担率の変化を生活圏別に見ると、乗り換えなしでアクセスが出来る延岡生活圏・宮崎生活圏の市町村で特に鉄道の分担率が上昇しています。

図 宮崎空港アクセス鉄道整備に伴うアクセス交通機関分担率の変化(各年、秋期1日(平日))

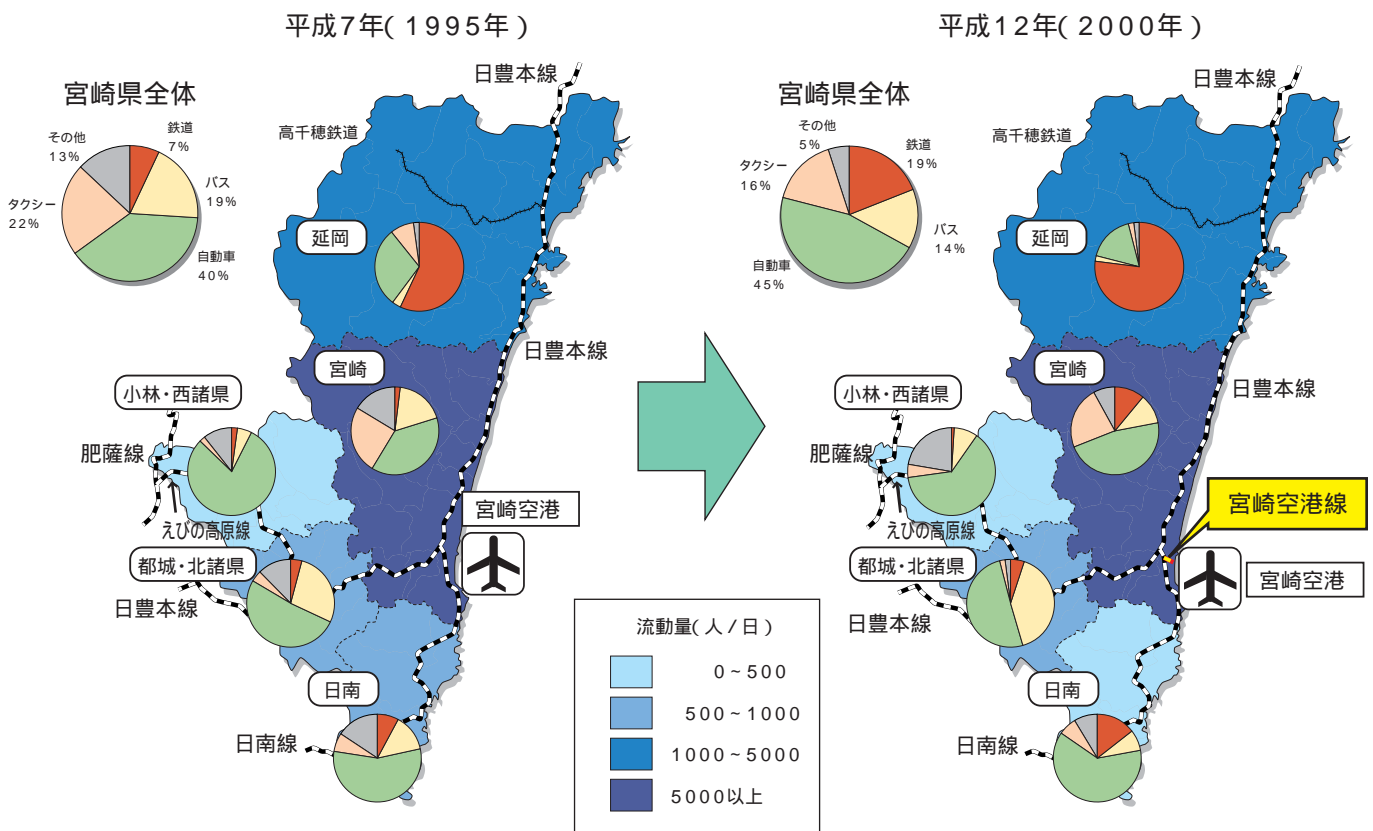


表 JR宮崎空港線の運行本数(平成12年11月現在)

発着駅	(本数/合計)				
	特急	ライナー	快速	普通	合計
博多駅	10	—	—	—	10
小倉駅	2	—	—	—	2
延岡駅	6	3	4	6	19
宮崎駅	—	—	—	15	15
南宮崎駅	—	—	—	11	11
合計	18	3	4	32	57

注)上り本数と下り本数の合計。



宮崎空港アクセス鉄道

(3) 幹線鉄道の整備

ほくほく線の開業に伴う幹線旅客流動の分析 - 富山県、石川県と首都圏の流動 -

平成9年3月にほくほく線が開通し、首都圏から北陸方面への鉄道所要時間が短縮されました。その結果、首都圏と富山県、石川県との流動の変化をみると、長岡ルート・米原ルートからほくほく線を利用した越後湯沢ルートに転換し、特に、富山県で鉄道利用者が増加していることがわかります。

図 富山県と首都圏間のルート別幹線旅客流動量(各年、秋期1日(平日))

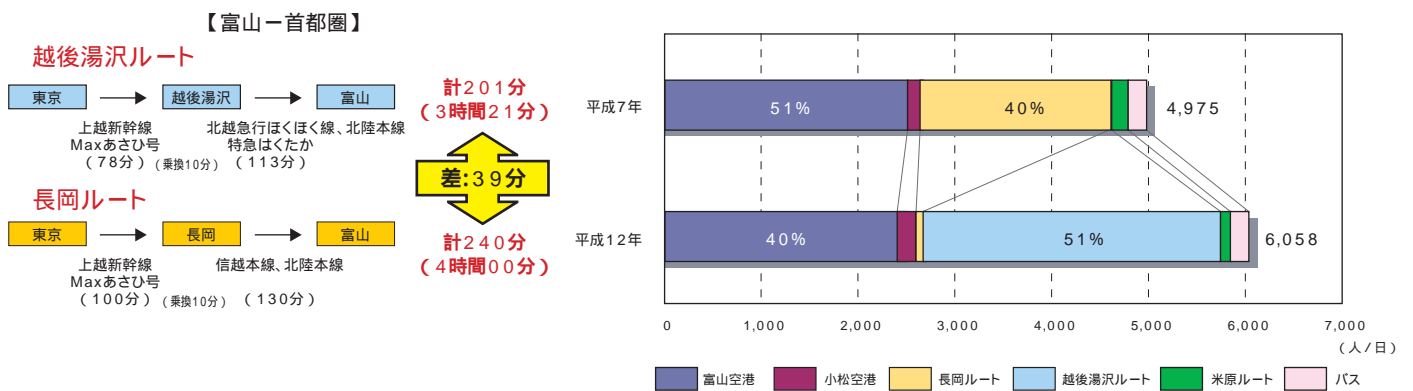
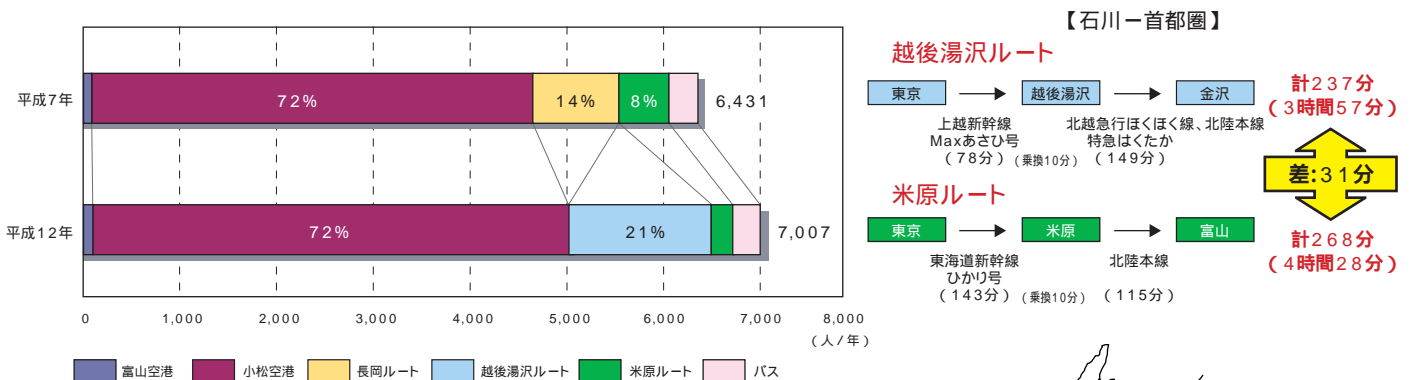
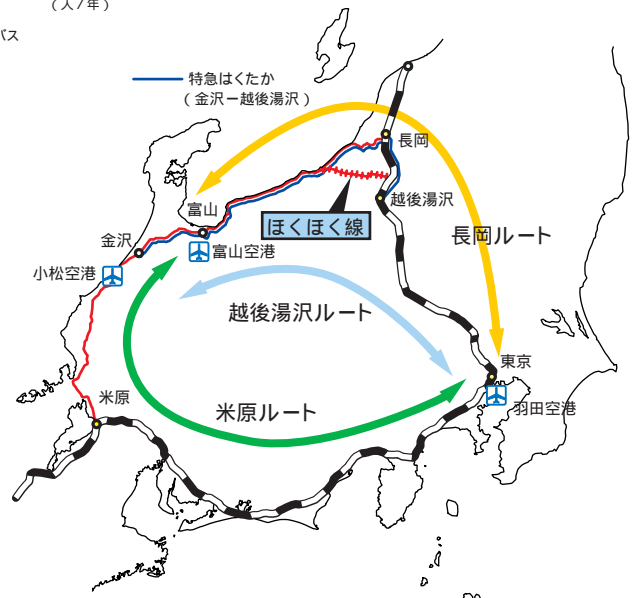


図 石川県と首都圏間のルート別幹線旅客流動量(各年、秋期1日(平日))



ほくほく線・特急はくたか



(4) 高速道路の整備

本州・四国間の幹線バス利用流動量の変化

本州と四国を結ぶ本州四国連絡橋は、平成10年4月に明石海峡大橋が完成し、神戸淡路鳴門自動車道の全線が供用され、さらに、平成11年5月の新尾道大橋、多々羅大橋、来島海峡大橋の完成により、3ルートが供用されました。その結果、近畿・中国地方の各生活圏と四国地方全体との幹線バスを利用した流動の変化をみると、平成2年から平成12年にかけて、大阪・兵庫を中心に幹線バス利用による流動量が拡大していることがわかります。

図 四国地方全体と近畿・中国地方各生活圏間の幹線バス利用による流動量(各年、秋期1日(平日))

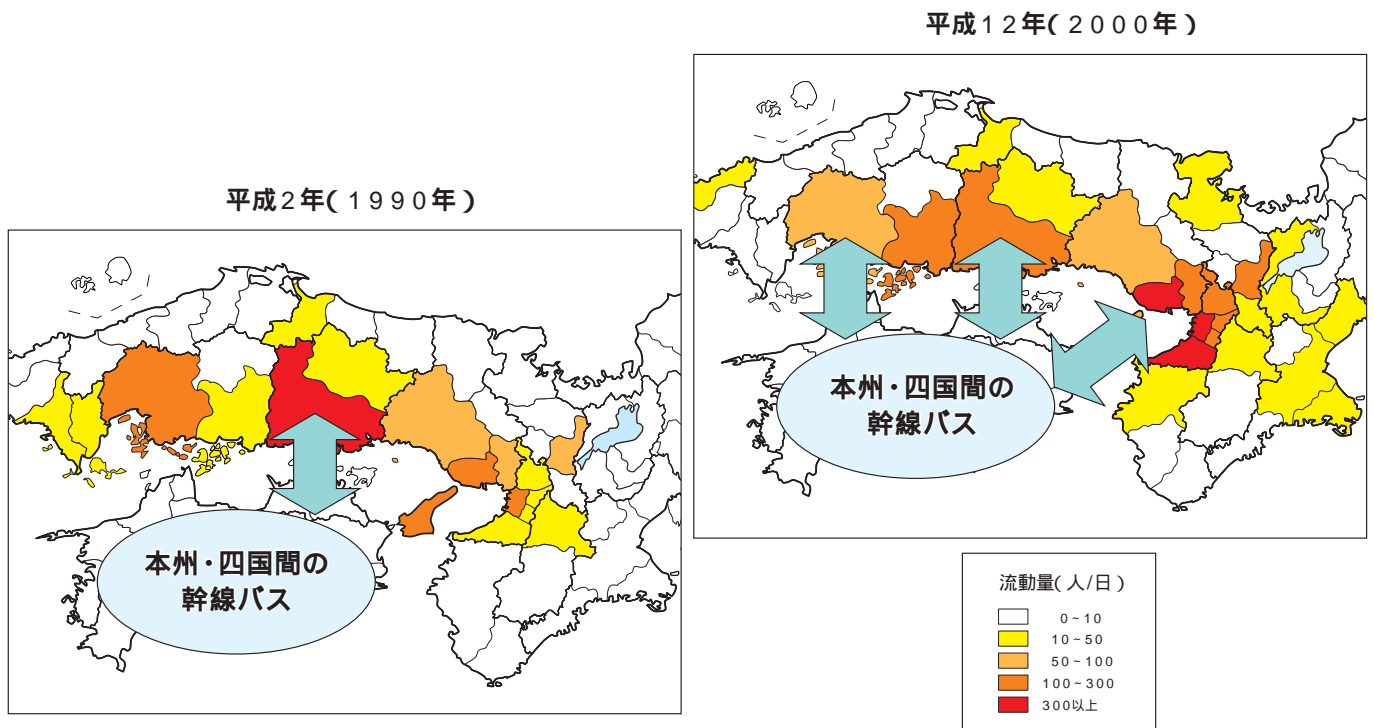


表 <本州・四国間の幹線バス(1990年)>

	路線名	運行本数/日	便名
中国-四国 路線数 計2本	岡山-高松-琴平	14	瀬戸大橋高速バス
	倉敷-高松-琴平	13	瀬戸大橋高速バス
	中国-四国 計	27	

表 <本州・四国間の幹線バス(2000年)>

	路線名	運行本数/日	便名
近畿-四国 路線数 計9本	大阪-徳島	32	阿波エクスプレス号
	神戸-徳島	29	阿波エクスプレス号
	学園都市-徳島	12	-
	京都-徳島	6	阿波エクスプレス京都号
	津名(淡路島)-徳島	12	-
	大阪-高松	4	さぬきエクスプレス号
	大阪-高知	1	よさこい号
	大阪-松山-八幡浜	1	オレンジライナーえひめ号
	大阪-宇和島-城辺	1	ウワジマ(サラダ)エクスプレス号
近畿-四国 計	98		
中国-四国 路線数 計7本	岡山-松山	6	マドンナエクスプレス号
	福山-尾道-松山	2	キララエクスプレス号
	岡山-高知	9	龍馬エクスプレス号
	広島-今治	6	しまなみライナー
	尾道-今治	10	しまなみライナー
	福山-今治	16	しまなみライナー
	因島-今治	3	しまなみライナー
中国-四国 計	52		



明石海峡大橋

注)季節便を除く